



100年超の時を積み重ねて 酒造りの 新たな可能性に挑む

1924年(大正13年)道内の焼酎製造会社4社が合併して設立された合同酒精株式会社は昨年100年の節目を迎えるました。良質の酒造好適米、大雪山を源とする清冽な水、冷涼な気候、酒造りに適した条件がそろう北の灘・旭川で美味しいお酒を造り続けています。『ビッグマン』『鍛高譚』『グランブルー』などおなじみの人気焼酎をはじめ、北海道産の原料にこだわる清酒のラインナップも充実。工場内にあ



る天然ガスの蒸気ボイラーは、お酒の製造工程である原料の加熱や殺菌の重要な役割を担っています。一世紀を超える時を積み重ね、受け継がれた伝統を守りながら優れた品質のお酒を生産する同社ですが、最新鋭のオートメーション化に取り組むなど「次の100年」に向けた新たな挑戦も始まっています。

撮影/
三好 典仁



合同酒精株式会社 旭川工場

旭川市南四条通20丁目1955
お問い合わせ先/
オエノングループお客様センター
047-705-7790

